

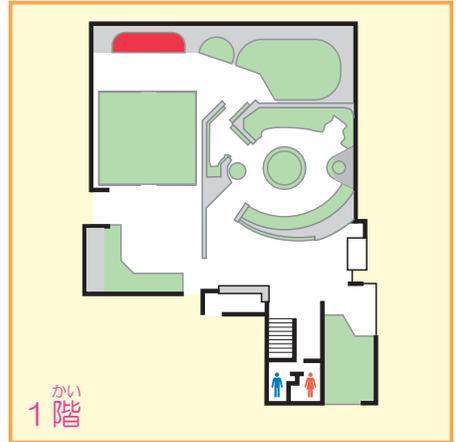
えどじだい ひらつか 江戸時代の平塚

(コーナーの名まえ)

この場所で見られます

●平塚宿

江戸時代の平塚は、江戸と京都をむすぶ東海道の宿場として慶長6年(1601年)に成立しました。宿場とは荷物を運ぶための人や馬を集めておく町で、幕府がみとめた人や荷物は無料で次の宿場まで送らなければなりません。また、その仕事をするための問屋場や、大名などえらい人を泊めるための本陣や脇本陣といった大きな旅館もつくられました。



天保14年(1843年)の平塚宿には、414軒の家があり、2038人が住んでいました。



ほんじん
本陣



おおいそがわ
大機側から見た
ひらつかしゆく
平塚宿のようすと
模型のもとになった
「宿並帳」

しゆくびちやう
宿並帳は2階の
「宿場のくらし」で
見られます



といやば
問屋場



前が見えん・・・



えど (いまの東京) と 京都 を 結ぶ
東海道はたいせつな道で、
幕府(武士の政府)は、
ここに53の宿場を置いたんだ。
平塚宿もそのひとつだったんだね。



ミッション7

ひらつかしゅく の 模型 (現在の古花水 ~ 市民センター までの位置にあたります) から、いちばん 大きい 建物 を 探して みましょう。それは、なんの 建物 でしょうか。